



HP



8% *

)T
H200 e

2016° 9v ŠGGGĀ Ć :

2016° 12v ŠGGGĀ

2017 Ě ŠGGWF 6G5P GVE

2017° Ź 1n Š Š G3āE GcGGŠGG2GŠ

2019° 2v ŠŠŠŠŠŠŠeGGJG•

2020° 9v ŠŠŠŠ*L9%ŠAGGħŠeGGJG•

2020° 1v ŠŠŠŠŠwG4GŨcGGGG1GGä

2020° 2 Ź % 8G4)B

2020° 4v ŠŠŠŠŠj

<p>活動PR1* (200文字以内)</p>	<p>セクシュアルマイノリティ交流会「ハレの輪」</p> <p>月に1回、第4日曜日に開催している交流会「ハレの輪」では、年齢・性別不問、無料の交流会として、当事者でなくとも誰もが参加でき、これまで500名以上、20代を中心として、中学生から70代と、幅広い年齢層の方にお越しいただいています。</p>
<p>活動PR2* (200文字以内)</p>	<p>悩み相談</p> <p>SNSやメールなどで、主に中高生の悩み相談の対応をしています。例えば、「制服を変えてもらえるように先生に頼んだが、わがままでと言われてしまった」、「就職活動においてLGBTであることによる活動のしづらさを感じている」など、相談は多岐にわたりますが、「ハレルワ」メンバーが自分たちの経験をもとに答えるなど、一人ひとりの生きづらさや悩みを打ち明けられる拠り所としての役割を果たしています。</p>
<p>活動PR3* (200文字以内)</p>	<p>「まちのほけんしつ」開設</p> <p>若者を支援する団体と共同で、2020年4月より前橋の商店街に「まちのほけんしつ」を設置することとなりました。資金はクラウドファンディングで募集し、214名から、総額1,965,000円を支援していただきました。いつでも誰でも安心して立ち寄れる常設の交流スペースをつくることによって、生きづらさを抱えるすべての人に、「まち」と「人」が繋がる居場所を提供していきます。</p>
<p>SDGsのゴールとターゲット番号及び結びつきの説明</p>	<p>番号の記入(目標 5) (ジェンダー平等を実現しよう)</p> <p>説明(LGBT 当事者をはじめとする、悩みを抱える人々の居場所づくりを推進するとともに、多様性を当たり前と感じられる社会になることを目指しています。)</p>

■質問事項 (全200文字以内厳守)

<p>質問1* (200文字以内)</p>	<p>活動を始めたきっかけを教えてください</p> <p>2015年9月 SNSで「ハレルワ」の活動を見て、交流会に初めて参加。1年後にメンバーとして加入。その3か月後に、前代表から引き継ぐかたちで、代表に就任。当時、15名のメンバーはほとんど学生。社会人である自分が受けるしかありませんでした。多くの人前で話すことには抵抗があったものの、この活動を途絶えさせてはいけないという責任感や、自分自身がそうであったように、現在悩んでいる人の助けになりたいという使命感から、代表就任を決断しました。</p>
---------------------------	--

<p>質問2* (200 文字以内)</p>	<p>この活動を通してどのような未来を実現したいと思っていますか(ビジョン)</p> <p>人々が「自分も多様性の一部である」という意識を持っている未来。LGBT や多様性、ダイバーシティという言葉はもう認知されてきましたが、実生活での実現には、まだまだ問題が存在します。例えば、誰にでも苦手なものはあります。皆どこかマイノリティにあたる部分をもっているし、これから持つかもしれません。だから私たちは皆多様性の一部なのです。そして、LGBT などという言葉が無くてもよい社会を実現していきたいと思っています。</p>
<p>質問3* (200 文字以内)</p>	<p>未来を実現するために今行っている具体的な活動をお答えください(アクション)</p> <p>「まちのほけんしつ」を、生きづらさや悩みを抱える人だけではなく、あらゆる地域の人々の憩いの場にしていくこと。そして、この場所から、私たちは皆多様性の一部であることを発信していきたいです。きっかけはどんなことでも良いのです。ここに来れば安心する、皆に会える、という場所にしていきたいと考えています。そして、少しずつでも、地域の人々が、多様性を実生活の中で感じられる社会にしていきたいと思っています。</p>
<p>質問4* (200 文字以内)</p>	<p>あなたの行っている活動は社会にどのような影響を与えていますか(インパクト)</p> <p>例えば、制服を変えてもらった学生、就職サポートの実現など、当事者の悩みに寄り添ってきた結果、多くの希望の光を見出すことができました。また、数々のメディアに取り上げてもらったり、他団体との交流を行ったりして、相談できる人・団体が増えて、活動の幅も広がってきました。「まちのほけんしつ」の開設に際しては、クラウドファンディングで、全国の方から多くの支援と数々の応援の声をいただくことができました。</p>
<p>質問5* (200 文字以内)</p>	<p>あなたの考えるリーダーシップをお答えください</p> <p>まだ勉強中ですが、私が考えるリーダーシップとは、「人を輝かせる」ことです。この活動はあくまで「ボランティア」であり、学業や仕事が優先です。しかし、その中で、どこまでやりがいを感じてもらえるかが重要だと考えています。基本は、その人の得意分野を活かしたいと思っています。そのためには、その人を知ることです。この人にこれを任せたらうまくいくかも、ということを常にイメージしながら運営しています。</p>

■推薦者情報

<p>ブロック名*</p>	<p>群馬</p>
<p>青年会議所名*</p>	<p>前橋青年会議所</p>
<p>担当役職*</p>	<p>理事長</p>
<p>担当者氏名*</p>	<p>小林 久峻</p>
<p>フリガナ*</p>	<p>コバヤシ ヒサタカ</p>

推薦理由*
(200 文字以内)

間々田氏は、昨年度、群馬ブロック協議会におけるLGBTをテーマとした事業にも、パネリストとしてご協力くださいました。発信力や人間力がともに素晴らしく高く、これからの地域の未来を担うリーダーであると感じております。そして、今後さらに活動の幅を広げられることと確信しております。間々田氏の活動を全国の皆様にご紹介するとともに、間々田氏の声が、より多くの人々の心に届いて欲しいと願い、JCI JAPAN TOYP2020に推薦させていただきます。何卒、よろしくお願いいたします。